

Ranger User Manual



各コントロールについて

ROTARY MODE Switch

コンデンサーを切り替えることで、様々な周波数モードを切り替え、選択した周波数以上の信号をすべて通過させるハイパス・フィルターを作り出します。

FULL

フルレンジで、低音を含むすべての周波数が通過します。すべての信号が通過するため、トランジスタは簡単に歪みます。

LO-MIDS

バスを除くすべての信号が通過する。

MIDS

ローミッドとバスを除くすべての信号が通過する。

RM-1

"Rangemaster1" は初期バージョンのレンジマスターと同じで、アッパーミッド、トレブル、アッパートレブルのみが通過する。

RM-2

"Rangemaster2" は後のレンジマスターと同じで、トレブルとアッパートレブルのみが通過する。

Level

音量を調節します。

ON/OFF Footswitch

オン / オフを切り替えるスイッチです。

入出力について

INPUT 1/4" モノラル標準フォン入力端子

OUTPUT 1/4" モノラル標準フォン出力端子

電源について

DC INPUT

高品質で安定化された 2.1mm x 5.5mm プラグの 9VDC センターマイナ電源で動作します。

BATTERY

9 ボルト電池 (006P バッテリー) で駆動させることも可能です。電池交換の際は、筐体左右のネジを回して外し、ペダルの上部と下部を分離して電池を交換します。

内部 BIAS トリマーについて

内部にトランジスタのバイアスを設定し、通常、9 ボルトで電源を供給する場合、3.5 ボルトから 6 ボルトの範囲でバイアスをかけることができるトリマーがあります。トリマーを時計回りに回すとバイアス電圧が下がり、サウンドが少し静かになり、アタックがソフトになります。トリマーを反時計回りに回すとバイアス電圧が上がり、ペダルの音量が大きくなり、アタックが強ク / 速くなります。

※設定レベルによっては音が出ない、場合によっては製品破損につながる場合がございますので調節の際は少しずつ慎重に行なってください。

Ranger について

Dallas Rangemaster は、ブライアン・メイ、トニー・アイオミ、ローリー・ギャラガーなど、彼らのシグネチャー・サウンドを実現するために重用された、1960 年代半ばに製造されたゲルマニウム・トランジスタ駆動のギター・エフェクターです。このエフェクターは「トレブル・ブースター」として販売されていたが、実際には中音域と高音域をブーストし、同時に驚異的なハーモニック・ディストーションを与えると同時に、真空管アンプをより歪ませるものでした。Fulltone は、超コンパクトな筐体に 5 つの周波数帯域を追加し、トゥルーバイパスで復活させました。さらに、回路は「センタープラス」のまま、標準的な「センターマイナス」電源アダプターまたはパワーサプライで駆動できるように変更しました。さらに、New Old Stock の MIL スペックゲルマニウム・トランジスタが搭載されています。